

文化・スポーツ施策の推進状況について

- ・ 令和3年度事業実施状況
- ・ 令和4年度事業実施予定

1 令和3年度事業実施状況

(1) 文化振興事業

○文化祭の実施

市民文化祭「アーツフェスタたかまつ2021」

会場：サンポートホール高松ほか

令和3年5月29日～7月4日開催（15団体参加 鑑賞者数 4,391名）

○高松市文化奨励賞の贈呈

顕彰部門 藤本 誠（ふじもと まこと）氏（グラフィックデザイン）

山本 育代（やまもと いくよ）氏（演劇）

新人部門 中條 新（ちゅうじょう あらた）氏（金属工芸）

若狭 知恵（わかさ ちえ）氏（フルート）

※受賞者（新人部門）の発表機会を新たに創出



1 令和3年度事業実施状況

○優良芸術の鑑賞機会提供

学校巡回芸術教室 全10メニュー、18校で実施（内4校、動画）

学校巡回能楽教室 全3メニュー、6校で実施

劇団四季ミュージカル「こころの劇場」開催事業（小学校6年生招待公演）

※瀬戸・高松広域連携中枢都市圏事業

→ 新型コロナウイルス感染症の影響により公演は中止。代替として新たに動画配信を実施。



○高松国際ピアノコンクール

- ・日本で3番目に創設された国際的なピアノコンクールとして、平成17年度より4年に1度開催
- ・平成27年には、国際音楽コンクール世界連盟に加盟
- ・令和4年3月の第5回高松国際ピアノコンクールの開催機運を高めるため、県内のピアノに関わる方々が一堂に会する「ピアノアンサンブルフェスティバル」を実施

→ 第5回高松国際ピアノコンクールについては、新型コロナウイルス感染症の影響により令和5年2月に延期

1 令和3年度事業実施状況

○0才からのコンサート事業（乳幼児と保護者が一緒に楽しめるクラシック・コンサート）

令和3年度は、高松国分寺ホールで3回実施。

○まちなかパフォーマンス事業

市民の文化芸術への関心を高め、高松のにぎわいを創出するとともに、街角から楽しい音楽があふれる「アート・シティ高松」の実現に向け、実施。

→ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で実施。また、一部の事業は、リアル配信に加えて、アーカイブ配信することで、多くの市民等が鑑賞できる環境を創出した【新規事業】

・たかまつ大道芸フェスタ [3/26～27]

・まちなかコンサート事業

TAKAMATSU MUSIC BLUE FES [3/20～21]

高松フラストリート [3/19]

街クラシックin 高松 [3/12～13・3/19～21]

※TAKAMATSU MUSIC BLUE FES は、SUNPORT AUTUMN JAM と合同で実施



1 令和3年度事業実施状況

○高松アーティスト・イン・レジデンス事業

アーティストが、一定期間滞在しながら、地域のつながりの中で作品制作を行うことを通じて、地域との協働を生み、地域に賑わいをもたらすとともに、アートの普及や若手アーティストの育成を図る。

→ 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送った。

○大島アーティスト・イン・レジデンス事業

→ 従来は、大島の将来の振興を見据えた内外の交流をさらに推進するため、大島でサマーキャンプを実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、大島での開催ができなかったため、オンラインで実施した（アーティストとのワークショップで作成した作品を、オンライン上で公開するラジオ番組「大島アワー」のコーナーで発表）。



1 令和3年度事業実施状況

【新規事業】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの文化芸術活動が制約を受ける状況の中、文化芸術の創造・発表・鑑賞の機会を創出するため、下記の新規事業を実施した。

○「アート・シティ高松」文化芸術創出事業

市内で活動するアーティスト等が制作した作品を募集し、審査を経て公開することで、市民等に良質な文化芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、アーティスト等の創造・発表の機会の創出につなげる。

【オンラインアートクリエイティブ部門】

音楽・演劇・美術等の映像作品をオンライン上で公開 … 5 作品

【ランチギャラリー活用部門】

「高松市美術館ランチギャラリー」を活用した作品展示 … 2 作品



1 令和3年度事業実施状況

(2) 文化芸術ホール管理運営

公益財団法人 高松市文化芸術財団を指定管理者として、効果的な管理運営に努めた。

○文化芸術ホール自主事業

主催事業 9 事業、共催事業 6 事業（音楽、演劇等）

→ 新型コロナウイルス感染症の影響により、主催事業 2 事業、共催事業 3 事業を中止



(3) 高松国分寺ホール管理運営

日本管財・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体を指定管理者として、効果的な管理運営に努めた。

○高松国分寺ホール自主事業 11メニュー 35 事業（コンサート、文化講演会、伝統芸能等）

→ 新型コロナウイルス感染症の影響により、4メニュー 4 事業を中止



2 令和4年度の主な事業予定

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
瀬戸内国際芸術祭2022	文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けた瀬戸内国際芸術祭を、県、関係市町及び福武財団等で組織する実行委員会が中心となり、開催する。	101,382	
まちなかパフォーマンス事業	高松のにぎわいを創出するとともに、街角から楽しい音楽があふれる「アート・シティ高松」の実現に向け、「TAKAMATSU MUSIC BLUE FES」や「たかまつ大道芸フェスタ」等を実施する。	10,000	
高松国際ピアノコンクール事業	高松から世界レベルの音楽を発信するとともに、地域の活性化、音楽芸術の振興、国際的な文化交流の推進等を目的とし、令和5年2月に、「第5回高松国際ピアノコンクール」を開催する（新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年3月から開催延期となった）。	27,860	※推進事業に係る 予算も含む ※令和3年度の 繰越金含む

〔文化財課〕

1 令和3年度事業実施状況

(1) 史跡高松城跡(玉藻公園)

ア 玉藻公園の管理運営

- ・香川県造園事業協同組合の指定管理者による管理運営
(平成28年度から利用料金制導入)
 - ・指定管理者の更新、公募により香川県造園事業協同組合に決定(R3～7年度)
- 新型コロナウイルス感染症対策により、令和3年5月から4年3月までの間で計95日間臨時休園

イ 披雲閣耐震補強工事

- ・蘇鉄の間の耐震補強工事

ウ 桜御門復元整備工事

- ・令和4年6月しゅん工、7月16日(土)開門式
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、工期を延長(R4.1→R4.6)

エ 艮櫓外壁改修工事

- ・剥落した漆喰塗の外壁及び屋根の排水設備の修理

オ 玉藻公園施設長寿命化計画に基づく整備工事

- ・電気設備屋外配線路等改修工事实施設計の作成、艮櫓避雷針修繕



桜御門 (玉藻公園)



披雲閣蘇鉄の間

力 史跡高松城跡保存活用計画の策定

- ・保存及び活用の方針を定める保存活用計画策定

→ 史跡高松城跡整備会議整備部会をWeb会議システムを用いて開催

(2) 文化財の保護

ア 文化財の調査

- ・史跡天然記念物屋島や史跡讃岐国分尼寺跡の確認調査の実施

イ 文化財の保存・管理

- ・史跡地の除草等の保存・管理業務の実施
- ・史跡讃岐国分尼寺跡の公有地化
- ・文化財管理及び保存伝承活動等に要する経費の一部助成

ウ 文化財の公開・活用

- ・市民・親子文化財教室等（年6回、延べ181人参加）

→ 新型コロナウイルス感染症対策により、広い会場で定員を収容人数の50%程度として開催。ふるさと探訪は中止。

- ・連載講座「探求！高松遺産」の開催（4回、参加者140人）

エ 四番丁スクエアの管理

- ・四番丁スクエア施設の管理運営



令和3年度親子文化教室（夏）

(3) 歴史資料館事業実績

概要

- ・ 歴史・考古・民俗等に関する資料の収集・保管・調査研究の実施
- ・ 展示等の情報発信、講座等の教育普及活動を実施

ア 令和3年度利用者数等

総利用者数 21,391人

総観覧者数 18,561人

イ 展示事業

常設展 観覧者数 2,199人

企画展・収蔵品展

開催展数 4展

開催日数 124日間

観覧者数 4,125人

学習室展示（学習室を利用した展示）

観覧者数 6,324人

（総利用者数及び総観覧者数には未計上）

ロビー展（エントランスホールを利用して開催）

開催展数 11展

観覧者数 12,237人

→ 新型コロナウイルス感染症対策により、令和3年5月から4年3月までの間で計83日間
臨時休館 （4）石の民俗資料館、（5）香南歴史民俗郷土館、（6）讃岐国分寺跡資料館、
（7）菊池寛記念館も同様



歴史資料館企画展示室



サンクリスタル高松外観



歴史資料館常設展示室

ウ 教育普及活動事業（ワークショップ・校外学習等の活動）

講座等参加者数 2, 762人

- ・サンクリスタル学習（市内小学校対象の中央図書館・菊池寛記念館と連携した体験学習）

22校 1, 792人（児童1, 702人、担任90人）

→ 令和2年度は来館型を中止としたが、感染症対策を講じて来館型を再開

ただし、歴史資料館が臨時休館したため、4校が中止

- ・校外学習（小学校等が実施する校外学習で、歴史資料館での体験学習・展示説明等）

7校（施設） 284人

- ・子ども向けのプログラム 1講座 26人

- ・古文書講座 5回 延べ150人

- ・展示関連イベント 8行事 286人

→ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部を中止としたが、

一部のトークイベントをYouTubeチャンネルでの配信に変更

- ・サポート事業 4事業 延べ73人

- ・共催事業 延べ151人

讃岐村塾（友の会）事業（講演会等を実施）

資料館施設利用者数（研修利用等） 68人

エ 資料収集事業

- ・常設展示資料 336点

- ・令和3年度収集資料 430点（購入1点、寄贈429点）

- ・令和3年度末 収蔵資料 56, 593点

【内訳】歴史資料29,542点、民俗資料12,790点、美術工芸資料3,667点、
考古資料5,535点、郷土玩具4,860点、伝統工芸資料199点



サンクリスタル学習

(4) 石の民俗資料館事業実績

概要

- ・石と人間のかかわりの文化を観点に、資料の収集・保管・調査研究を実施
- ・展示等の情報発信、体験学習等の教育普及活動を実施

ア 令和3年度利用者数等

総利用者数 55,380人 総観覧者数 16,874人

イ 展示事業

常設展 観覧者数 4,160人

企画展 開催展数4展 開催日数99日間 観覧者数10,129人

ホール展・共催展 開催展数7展 開催日数76日間 観覧者数2,585人

→ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展覧会関連イベントの一部を、SNSでの動画配信に変更して実施

ウ 教育普及活動事業

講座等参加者数 2,420人

・体験学習 19回 436人 ・古文書講座 11回 延べ155人

・資料館コンサート等 2回 89人

・その他（ストーンハンティングや石deペイント）（常時開催）1,740人

公園等利用者数 36,086人

エ 資料収集事業

・常設展示資料 514点 ・令和3年度収集資料 無し

・令和3年度末 収蔵資料 7,096点

【内訳】歴史資料19点、民俗資料6,493点、考古資料3点、自然科学資料581点



石の民俗資料館外観



石の民俗資料館常設展示室

(5) 香南歴史民俗郷土館事業実績

概要

- ・市域南部の歴史民俗資料の収集・保管・調査研究を実施
- ・展示等の情報発信、講座等の教育普及活動を実施

ア 令和3年度利用者数等

総利用者数 16,507人 総観覧者数 12,319人

イ 展示事業

常設展 観覧者数 7,042人

企画展 開催展数 6展 開催日数 142日間 観覧者数 4,470人

共催展 開催展数 4展 開催日数 37日間 観覧者数 679人

ウ 教育普及活動事業

講座等参加者数 2,066人

・郷土館講座 3講座 延べ208人 ・夏休み子ども講座 2講座 26人

・展示関連イベント 10行事 367人

・その他事業 5事業 延べ 1,387人

・出前資料館 1回 78人

図書館等利用者数 2,122人

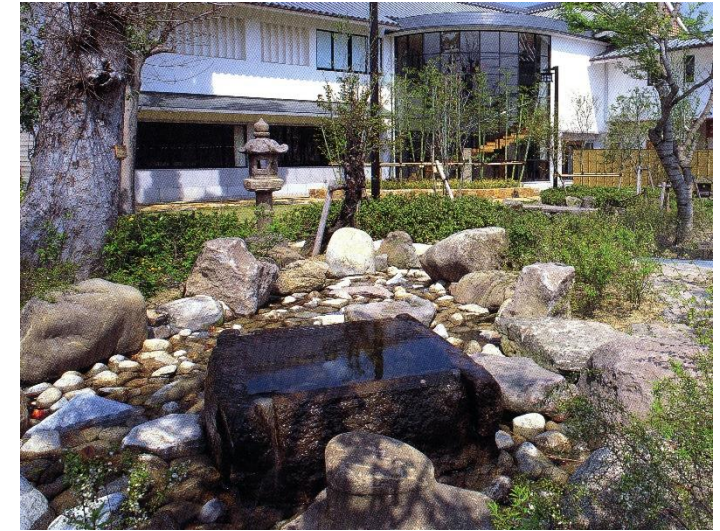
エ 資料収集事業

・常設展示資料 241点

・令和3年度収集資料 225点（寄贈225点）

・令和3年度末 収蔵資料 5,285点

【内訳】歴史資料4,254点、民俗資料411点、美術資料9点、考古資料120点、自然資料126点、その他365点



香南歴史民俗郷土館外観



香南歴史民俗郷土館歴史展示室

(6) 讃岐国分寺跡資料館事業実績

概要

- ・ 特別史跡讃岐国分寺跡を保護し、文化財の保存及び活用を図る
- ・ 歴史的意義等を説明するため、展示等の情報発信、講座等の教育普及活動を実施

ア 令和3年度利用者数等

総利用者数 10,172人

総観覧者数 1,524人

イ 展示事業

常設展 観覧者 1,524人

企画展 開催展数4展 開催日数171日間
(観覧者数1,256人(上記内数))

ウ 教育普及活動事業

講座等参加者数 724人

- ・ 資料館講座 4講座 延べ389人
- ・ その他事業 2事業 延べ335人(講演会等)

史跡公園等利用者数 7,924人

エ 資料収集事業

- ・ 常設展示資料 102点
- ・ 令和3年度収集資料 無し
- ・ 令和3年度末 収蔵資料76点
【内訳】考古資料76点



讃岐国分寺跡資料館外観

(7) 菊池寛記念館事業実績

概要

- ・ 菊池寛に関する資料の収集、保管、展示、調査研究
- ・ 郷土文化・文学の向上を図るため、香川菊池寛賞の選奨

ア 常設展 入場者数 4, 249人

イ 文学展等

文学展の開催（高松市・菊池寛顕彰会共催）

- ・ 第30回文学展 『石井桃子の101年－本は一生の友だち』（会場：サンクリスタル高松4階企画展示室）
- ・ 令和3年10月5日～11月7日（30日間） **入場者数1, 214人**

文学展関連行事の開催（高松市・菊池寛顕彰会共催）

6事業 参加者数 167人

→ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の講座に録画上映やオンライン配信を導入

特別講演会の開催（高松市・菊池寛顕彰会共催）

- ・ 講師 吉岡 忍氏（ノンフィクション作家、前日本ペンクラブ会長）
- ・ 会場 サンポートホール高松4階 第1小ホール
- ・ 日時 令和3年11月23日(火・祝) **参加者数 110人**

→ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場者数を制限



菊池寛記念館常設展示室

ウ 資料収集

菊池寛に関する資料及び寛が創設した芥川賞・直木賞に関する資料など

エ 菊池寛顕彰事業

第57回香川菊池寛賞（高松市・高松市教育委員会・菊池寛顕彰会共催）

・応募作品数 62篇

第30回菊池寛ジュニア賞（菊池寛顕彰会主催、高松市・高松市教育委員会共催）

・応募作品数 小学校210篇（29校） 中学校106篇（15校）

オ 文化活動事業

文芸講座（高松市・菊池寛顕彰会共催） 延べ10回 参加者数261人

→ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の講座に録画上映やオンライン配信を導入

読書感想文講座

→ 小学校の夏休み期間中に2回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

「文藝もず」第22号発行

・香川菊池寛賞受賞作、菊池寛作品の論究など寄稿を掲載



香川菊池寛賞贈呈式

朗読劇「菊池寛劇場」（高松市・菊池寛顕彰会共催）

- ・令和4年3月23日開催

サンクリスタル学習（市内小学校対象の中央図書館・歴史資料館と連携した体験学習

- ・22校 1,792人（児童1,702人、担任90人）

→ 令和2年度は来館型を中止としたが、感染症対策を講じて来館型を再開
ただし、菊池寛記念館が臨時休館したため、4校が中止

2 令和4年度の主な事業実施予定

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
史跡石清尾山古墳群 保存・整備事業	崖地に立地する鶴尾神社4号墳の保存対策事業を実施する。また、史跡石清尾山古墳群保存活用計画の策定を進める。	155,042	
高松城跡整備事業	桜御門復元整備工事及び月見櫓外壁改修工事を実施するとともに、披雲閣大書院の耐震補強実施設計を作成する。	244,761	一部繰越 129,631
埋蔵文化財公開活用 事業	市内に所在する埋蔵文化財の公開と活用を目的とし、連載講座の開催、パンフレット制作等を実施する。	2,074	
文化財保存活用推進 事業	指定文化財の管理・修理・伝承公開事業に対する補助金の支出、本市が所有する史跡地の除草及び施設修繕等を実施する。また、必要な新型コロナウイルス感染対策を講じ、市民を対象とした文化財教室を開催する。	19,369	
歴史資料館 常設展・企画展等事 業	歴史資料館等が所蔵する貴重な資料による常設展・企画展・収蔵品展を開催するとともに、資料館エントランスホールを利用したロビー展を開催する。	4,204	
菊池寛記念館 第31回文学展等開 催事業（企画展示、 菊池寛顕彰）	第31回文学展「永遠の漂泊者―萩原朔太郎」を開催する。没後80年となる萩原朔太郎の生涯と詩の世界を、自筆原稿やノート、書簡、楽器、撮影写真などの貴重な関連資料によって紹介する展示を行う。 また、菊池寛顕彰事業として、第58回香川菊池寛賞の作品募集等を開催する。	4,273	

(1)東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業 → ミニセレブレーション、セレブレーションは、事前募集で人員を絞り開催し、パラ採火式については無観客開催、聖火ビジットは中止した。



(2) 障がい者スポーツ推進事業

【聖火リレー】

【パラ採火式】



→ 会場内の人数制限や健康チェック表、検温、消毒を徹底し、パラスポーツ体験会を開催した。ジャパンパラ大会は無観客で開催した。

【2021ジャパンパラ陸上競技大会】

1 令和3年度事業実施状況

(3) たかまつスポーツ栄誉賞の創設

○スポーツの分野において顕著な功績を収めた個人または団体を表彰

堀水宏次郎（ほりみず こうじろう）氏

塩田紗代（しおた さよ）氏

大山真奈（おおやま まな）氏

阿部知里（あべ ちさと）氏

崎山優成（さきやま ゆうせい）氏



(4) 地域密着型トップスポーツチーム支援事業

○香川オリーブガイナーズ ○香川ファイブアローズ

○カマタマーレ讃岐 ○香川アイスフェローズ

4団体と連携しながら、スポーツ教室やホームタウンデー開催等のイベントを実施し、観客動員数の増加を図るとともに、地域スポーツの活性化に取り組んでいる。

1 令和3年度事業実施状況

(5) スポーツ・レクリエーション施設の整備・管理

→ 感染拡大防止のためトレーニングルームの休業や新規予約の受付を停止した期間もあったが、感染予防対策の徹底を周知しながら開館し、スポーツ・レクリエーションの機会の確保に努めた。

○スポーツ施設 49のスポーツ施設を管理（指定管理者制度・利用料金制を導入）

年間156万人の利用



屋島レクザムフィールド



市総合体育館



ヨット競技場

(6) 学校体育施設開放事業 小学校55校、中学校16校で事業を実施



グラウンド利用状況

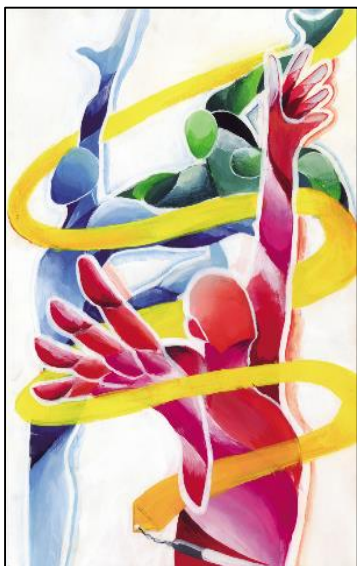


体育館利用状況

2 令和4年度事業予定

(7) 全国高校総体（2022）推進事業

令和4年7月下旬から令和4年度全国高等学校総合体育大会が開催予定であり、4競技4種目（体操（新体操）、バスケットボール、自転車（トラックレース）、フェンシング）を本市内で開催。



体操（新体操）



バスケットボール競技



自転車競技



フェンシング競技

令和4年度全国高等学校総合体育大会競技種目別大会ポスター原画

2 令和4年度の主な事業予定

事業名	事業内容	予算額(千円)	備考
高松スポーツカーニバル		207	中止
サンポート高松トライアスロン大会	水泳・自転車・長距離走の3種目を連続して行う競技で、全国的にも珍しい民間主導のまちなかトライアスロンとして、地域経済の活性化及び本市シティプロモーションにつながる大会	15,000	
令和4年度全国高等学校総合体育大会 高松市開催競技種目別大会	国内最大規模の高校生スポーツの祭典である全国高等学校総合体育大会が四国ブロックで開催され、本市は、新体操、バスケットボール、自転車（トラックレース）、フェンシングの4競技の会場となっている	68,209	★新規
第20回全国中学校ヨット選手権大会	中学校における部活動としてのヨット部の充実、発展のための大会	—	★新規
日本パラ陸上競技連盟 強化合宿 ／育成強化合宿／J-STAR合宿	合宿期間中に義足体験のほか陸上教室を実施予定	1,440	
トリムの祭典	市民が生涯を通して心身ともにバランスのとれた生活を楽しむことを目指して、誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションイベント	2,000	
高松ファミリー&クォーターマラソン in AJI	映画「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケ地として有名な庵治町を走ること、全国のマラソン愛好者に高松市の魅力を発信するとともに、市民のスポーツ振興及び地域の活性化を目的とする	2,700	
高松アゼリアカップ高校選抜 ソフトテニス国際大会	ソフトテニス競技を通じて国際交流を深め、相互の競技レベルの向上及び選手同士の親睦を図る	700	
高松スポーツ・健康感謝祭2023	スポーツ実施率の向上・健康増進・体力づくりに寄与し、スポーツを通じた共生社会の実現を図ることを目的とする市民参加型のスポーツ・レクリエーションイベント	2,000	

1 令和3年度事業実施状況

(1) 「高松市美術館」 利用者数：131,348人

ア 展覧会・貸館

展覧会		開催展数	開催日数		入場者数	
特別展	美術館に行こう！展	5	26	134	10,396	21,667
	ゆかたと藍の世界展		18		1,731	
	大・タイガー立石展		29		4,796	
	濱田庄司展（企画展示室） 関連展示 中村裕太 丸い柿、干した柿（一般展示室）		32		2,741	
	アニュアルvol.10展		29		2,003	
常設展		4	219		14,937	
一般・企画展示室		12	50		22,736	
市民ギャラリー		23	123		11,992	
計		44	526		71,332	

特別展

「大・タイガー立石展」



常設展「第1期」



1 令和3年度事業実施状況

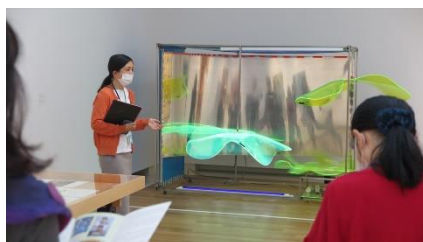
イ 講演会・美術講座等

内容	開催回数		参加延べ人数	
記念講演会等	7		288	
館長講座「まぶさび」教室	10		330	
ギャラリートーク	8	(内1回中止)	216	(展覧会の内数)
ワークショップ等	17		258	
イベント (パフォーマンス・特別企画展示・上映会等)	6	(企画数)	14,338	(3企画の434人は展覧会の内数)
こどもアートスペース (こども+)	6		2,460	
出前講座	5	(内3回中止)	35	
動画配信 → 前年度に引き続き、来館が困難な方も含め、多くの 方々に美術品の魅力などを伝えるため、オンラインによる 鑑賞手法として、作品解説等の動画を編集・配信した。	35	(配信本数)	30,503	(視聴回数)

「まぶさび」教室



ギャラリートーク



こどもアートスペース(こども+)



動画配信



1 令和3年度事業実施状況

- ウ 資料の収集 〈美術品〉 7点 (洋画5・彫刻2) 累計 1,713点
〈図書〉 641点 (美術図書312・図録329) 累計 52,724点
- エ 施設の提供 〈講堂〉 30回 1,059人 〈講座室〉 345回 4,576人
〈美術図書コーナー〉 233日 3,493人
- オ 美術館学習等 23校 延べ1,319人
- カ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等 延べ8人
- キ 学校との連携 延べ268人
→ 感染拡大など、来館による美術館学習が困難となった時を想定し、オンラインによる児童生徒への美術鑑賞等の機会を提供 (2校 延べ177人)
- ク 美術館の日 (8月第1土曜日) 展覧会の観覧料が無料
→ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- ケ 芸術的催物 (ミニコンサート) 延べ222人
- コ 高松市美術館サポートショップ事業
- サ 美術館ボランティア (ギャラリートーク・図書整理)
- シ ブランチギャラリー (高松丸亀町商店街内)
- ス 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館 77日

出前講座



ミニコンサート



ブランチギャラリー



1 令和3年度事業実施状況

(2) 「高松市塩江美術館」 利用者数：8,145人

ア 展覧会・貸館

展覧会		開催日数		入場者数	
企画展	Swing ! Swing !! 大島よしふみ彫刻展	25	191	671	4,043
	写真で紡ぐ	24		222	
	－線との対峙－ 杉本羽衣展	22		409	
	第35回思可牟展	13		513	
	染色家・山口摂華 －存在の確認－	36		1,169	
	色からきずく	37		415	
	LUCA ROMA The spiral －a new journey－	34		644	
常設展	※第Ⅲ期(前年度) 光に魅せられた画家 熊野俊一	10	213	233	4,102
	第Ⅰ期 絵肌を見る	65		1,005	
	第Ⅱ期 版画を楽しむ	61		1,776	
	第Ⅲ期 フォトしおのえ	77		1,088	
計		404		8,145	

企画展

「－線との対峙－ 杉本羽衣展」



常設展「フォトしおのえ」



1 令和3年度事業実施状況

イ 講演会・美術講座等

〈ワークショップ等〉 参加人数 : 78人

〈陶芸教室・風鈴づくり教室〉 参加人数 : 87人

ウ 美術館の日（8月第1土曜日）観覧料が無料

→ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

エ 美術資料の収集

〈美術品〉1点（工芸1） 累計 1,284点

オ 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館 83日

企画展「染色家・山口摂華 -存在の確認-」
アーティストレクチャー



陶芸教室



風鈴づくり教室



2 令和4年度の主な事業予定

(1) 展覧会開催事業

ア 特別展及び企画展

高松市美術館	高松市塩江美術館
tupera tuperaのかおてん. 展	アーティスト ミズカ WITH
みる誕生 鴻池朋子展	かがわ・山なみ芸術祭2022関連事業 芸術の四国遍路展
アニュアルvol.11展	画家 松山真理 繋がる
さくらももこ展	写真家 脇秀彦 今を生きる
コレクション+展	シ・カ・ク ー四角を視覚せよ！
	コトバが見える
	栗原慶 陶展 -Pale Clear-
5展	7展

イ コレクション（常設）展

高松市美術館	高松市 塩江美術館
第1期	第Ⅲ期 ※前年度からの続き
第2期	第Ⅰ期
第3期	第Ⅱ期
第4期	第Ⅲ期
4展	3展

特別展
「tupera tuperta展」

企画展
「アーティスト ミズカ
WITH」



2 令和4年度の主な事業予定

事業名	事業の内容	予算額（千円）
展覧会開催事業	高松市美術館において、特別展、コレクション展を開催し、国内外の優れた美術作品を鑑賞する機会を設け、学芸員やボランティアが作品を解説するとともに、講演会等の関連イベントを実施する。また、塩江美術館においても、企画展、常設展を開催し、地元ゆかりのアーティストの作品を鑑賞する機会を設ける。	67,894
美術教育普及事業	出品作家等を講師にしたワークショップを開催し、市民の芸術への関心と認識を深める。また、小・中学生を対象に、美術館学習などの機会を利用して鑑賞授業を実施するほか、「こどもアートスペース（こども+）」において未就学児はじめ世代を超えた教育普及プログラムを展開する。「新たな美術体験事業」として作品解説等の動画配信を行う。	1,529
美術資料収集事業	高松市美術館では、美術品等取得方針に基づき優れた美術品等を系統的に収集する。また、美術図書などの二次資料を継続的に収集するとともに、広く公開しその活用に努める。また、塩江美術館においても美術品等取得基金積立金を活用し、県にゆかりのある作家等の作品を収集していく。	11,611